高田川新聞

2018年8月27日
発行者
高田川部屋後援会事務局
〒135-0024
東京都江東区清澄2-15-7
www.takadagawa.com

大相撲　九月場所
平成30年9月9日より
15日間
於　両国国技館

高田川部屋では、15歳から22歳までの力士を目指す若者を随時募集しております。

輝の　すもうのす

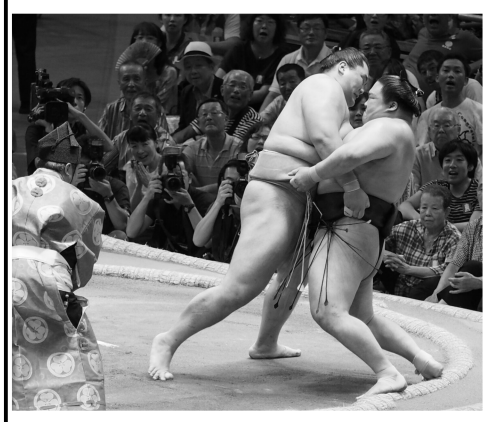
力士が出かける時、夏は浴衣、冬は着物を着ると決まっています。夏場に着る浴衣ですが、五月場所から名古屋場所の頃、各部屋がオリジナルの反物を作ります。角界のお中元のようなもので、一門で交換したり、お世話になった方に差し上げたり、後援会で使ったりします。また、幕内力士も作ることができ、自分は今年で2作目。アイデアが形になって出来上がってくるのは、楽しみの一つです。

白鷹山　幕下優勝で再十両へ

白鷹山　気迫の全勝

平成三十年名古屋場所は、連日の「命にかかわる暑さ」と言われた猛暑の中、関脇御嶽海の初優勝で熱戦の幕を閉じた。高田川部屋勢は、輝が一年ぶりの上位挑戦。十九年ぶりの三横綱休場で期待された横綱戦はお預けとなったが、二大関に挑んで存在感をみせた。また、竜電は幕尻近い番付で連勝連敗の連相撲を繰り返しながらも十四日目には勝ち越して幕内の地位を守った。そんな中、一場所で関取からの陥落の憂目を味わった白鷹山が、幕下東の筆頭で気迫の全勝優勝を飾り、面目躍如、十両への返り咲きを果たした。

白鷹山の初戦は、幕下の筆頭同士、村田との対戦。相手からも攻められ続けたが落ち着いて出て寄り切って初日を出す。二戦目は右に左に動きの速い小兵の炎鵬によくついていって、崩れることなく残して最後は押し倒した。そして、大きな相手には、足腰の重さを活かして前に前に出る。気がつけば六連勝で、全勝のかかる十三日目の貴公俊戦。三月場所に不戦勝で白星を稼いだ相手だが、もし戦っていても勝っていたことを証明するかのようにしっかりと寄り切って、本場所での初優勝となる幕下優勝と十両復帰を全勝で決めた。うれしいオマケは、千秋楽での表彰式。土俵上で審判部副部長を務める師匠から表彰状を手渡された。間もなく始まる九月場所では、また十五日間の戦いが始まる。名古屋場所のように一番一番集中して攻める相撲を続ければ十両でも勝ち越しどころか二桁以上の星を手繰り寄せられる。



輝　悔しいあと一歩

輝は前頭四枚目と一年ぶりの自己最高位に並ぶ地位で上位挑戦の場所となった。初戦から白星スタート。三日目の嘉風戦、七日目の宝富士戦など随所によい戦いを見せ、三勝四敗で中日からの大関戦を迎えた。高安には完敗。しかし翌九日目の豪栄道戦では、同じく結びの一番で大関を土俵際に追い込み、逆転負けを食ったものの、あと一歩のところまで追いつめて満員の会場を大いに沸かせた。結局、大関、関脇に土をつけることはまだ叶わなかったが、輝の新しい相撲は着実に進化している。輝が自分の形を完成させた時、三役、そしてその上が狙えるようになる。土俵際の詰め、とっさの反応力などまだまだ身につけなければならない課題はあるが、フロックではなく本当の実力で勝つ日までそう遠くないという印象を受けた。一年前は五勝、今年は六勝。そして、今度は一年後ではなく、もっと早い時期に上位挑戦できる番付に戻して、憧れの結びの一番で、兄弟子・勘太夫から勝ち名乗りを受けてほしい。

竜電　パワーアップを

竜電は、五月場所ではなんとかギリギリのところで十両陥落を免れた。先場所は初戦を落としたものの、序盤から三連勝。特に四日目は竜電らしい相撲で好調の朝乃山に土をつけた。しかし、その後がいけない。石浦、隠岐の海、栃煌山に三連敗。テレビ放送の解説者からも腰の軽さや上体の非力さが指摘された。体格的に互角か、それ以下の力士との対戦では十分な威力を発揮するものの、さすが幕内力士は大相撲の最高峰の力自慢ばかり。十両では通用しても幕内では通用しないことは多々ある。後半、連勝もあって勝ち越せたが、今後、相手もこれまで以上に研究してくる。初場所の快進撃はビギナーズラックと呼ばれないよう、幕内で勝ち進めるだけの力、技、スピードを備えていって幕内の番付を駆け上がってほしい。竜電はそれができる力士だと確信している。

安芸乃山　自己最高位

巨漢の安芸乃山が三連続勝ち越し。しかも五月場所に続く、連続五勝で四年ぶりに自己最高位を更新し、初の幕下十五枚目以内に入った。二十歳の時に初めて幕下昇進。最初の頃だけは幕下と三段目を往ったり来たりしたが、四年半前からは幕下の地位をキープしてきた。しかし、ずっと幕下の中位から下位の番付を上げ下げするだけでその先へなかなか進めないでいた。二百キロ越えの巨体ながら身のこなしが軽く、それ故か、引いたり叩いたりで勝つこともあるが、それが逆に足かせとなっていた。ここに来て、体を活かした、前に出る相撲でしっかり攻めるようになり、土俵際で身をかわされ落ちる弱点も、廻しを掴むことで相手を逃がさなくなった。こんな相撲を取られたら堪ったものではない。これこそが安芸乃山の真骨頂となるべき相撲。親方も「勝ち方を覚えたら山は期待できる」と口にした。

三段目では、恵比寿丸が六勝して自己最高位の三段目一桁の番付に乗せ、幕下へあと一歩。初戦こそ黒星を喫したが、二戦目からはしっかりとした取り口であれよあれよという間に残りをすべて白星とした。序ノ口の、相撲未経験入門の新弟子たちも少しずつ相撲らしい取組になってきて、藍五勝、天恵四勝で二名が勝ち越した。力士は皆、勝ち進むごとによい顔つきになっていく。勝ちが自信を育てる。そんなことを感じた名古屋場所だった。

初切（しょっせつ）　新コンビ誕生

恵比寿丸　勝武士

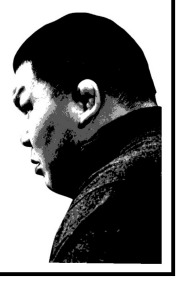
三役行司　式守勘太夫の目

猛暑、酷暑の中、約1ヶ月の巡業を終えた力士たちがどれだけ汗を流したかで一年の番付を左右すると言われる大切な夏の巡業。輝、竜電はじめ力士一同、精力的に稽古に励んだ。そんな中で初切要員として巡業に参加した勝武士と恵比寿丸。誕生したばかりの新しいコンビで客席に愛嬌を振り撒いて無難に一稼業をこなした。驚きなのは、一見引っ込み思案にみえる恵比寿丸が、あの観衆の中で臆することなくコメディ的な動作ができたと言うことだ。先場所、人が変わったように堂々とした相撲で6勝（1敗のあと6連勝）を挙げ、巡業の初切デビューも含め、人生においてすべていい流れで好転しはじめたように思う。この勢いで幕下、十両へ駆け上がってほしい。

※表記の番附は正式発表前の予想

幕内	輝	先場所 6勝9敗	○●○●●●○● ●●○●○○●	上位戦ではあと少しで勝てるような相撲が取れたがその少しが足りない。まずは膝を曲げることで色々繋がって良くなるはず。また上位と戦えるよう大勝したい。
〃	竜電	先場所 8勝7敗	●○○○●●●● ○○●●○○●	あまりいい相撲はなかったが、我慢と攻める気持ちでなんとか勝ち越せた。立ち合いの圧力、その後の攻めの速さを磨き、もっともっと攻める相撲で二桁以上勝つ。
十両	白鷹山	先場所 7勝0敗	○○○○○○○	先場所は五月場所よりも攻める相撲が取れた。自分の体勢を崩さず、前に出る事ができたから勝てたと思う。来場所は再び十両。縮こまらずに前に攻めて勝ちたい。
幕下	安芸乃山	先場所 5勝2敗	○●●○○○○	常に前に出る意識が持てた。久々に最高位更新できたので今以上に稽古して、この勢いで次も勝ち越し目指したい。
〃	安芸の花	先場所 3勝4敗	○●○●●●○	先場所は引きが目立ち、それが負け越しに繋がってしまった。基礎をやり直し、自分に自信を持って臨みたい。
〃	湘南乃海	先場所 1勝6敗	○●●●●●●	先場所は自分の弱さ、脆さを思い知った場所だった。もう二度とこんな思いをしないようひたすら稽古に励むのみ。
三段目	恵比寿丸	先場所 6勝1敗	●○○○○○○	先場所は好調で久しぶりに六勝を挙げれた。今場所は何としても勝ち越しして初の幕下に駆け上がりたい。
〃	大乗	先場所 1勝6敗	●●●●○●●	先場所は相手に合わせて相撲を取ってしまった。自分の間、自分の相撲を取りきってすぐに幕下へ戻りたい。
〃	大雷童	先場所 4勝3敗	○○○○●●●	ようやく前に出る力が戻ってきたが、土俵際の攻めが甘かった。足をしっかり運び攻めて今場所こそ優勝を狙う。
〃	剛力山	先場所 4勝3敗	○○●○○●●	地元名古屋で勝ち越せてよかった。前に攻める気持ちを持ち続けながら九月場所も続けて勝ち越したい。
〃	勝武士	先場所 4勝3敗	●○○●○●○	一番一番集中して相撲が取れた。どんどん自分を出し挑戦しながら本場所で強くなりたい。次も勝ち越しをめざす。
〃	須磨ノ海	先場所 2勝5敗	●●○●●●○	一番一番集中できておらず立ち合いの鋭さもなかった。次こそは自分のいい所を表現して大勝目指して頑張りたい。
〃	前乃富士	先場所 3勝4敗	○●○●●○●	名古屋場所は最後の相撲で負けて悔しい負け越し。九月場所はストレートで勝ち越して更に星を上積みしたい。
〃	大野城	先場所 休場	やややややや	怪我で一場所のはずが二場所休場になってしまった。今場所はようやく出場できるので優勝するつもりで臨みたい。
序二段	櫻	先場所 5勝2敗	○○○○○●●	自分のいい形になれ、落ち着いて相撲が取れた。立ち合いから素早く自分の形にして連続勝ち越しをしたい。
〃	前大将	先場所 3勝4敗	●○●○○●●	周りを気にして相手に集中することが出来ず勝ちきれなかった。来場所は勝ち越すことを意識して頑張りたい。
〃	天恵	先場所 4勝3敗	○●●○●○○	少しずつ考えて相撲が取れるようになった。連続で勝ち越せるよう自分の相撲を見直し、より稽古に励みたい。
〃	藍	先場所 5勝2敗	○○○●●○○	先場所は五勝をあげて初めて勝ち越すことができた。九月場所もしっかり稽古に精進してより頑張りたい。
序ノ口	暁	先場所 休場	やややややや	ようやく少し稽古ができるようになった。三場所休場で番付も大きく落ちたので優勝目指して頑張りたい。
〃	松ヶ島	先場所 1勝6敗	●●●○●●●	思い切り当たれるようになってきたが腰が高く前に出れていない。基礎をしっかりして今度こそ勝ち越したい。

高田川親方の喝！



輝は派手さはないが少しずつ力がついている。先場所でいい所と悪い所がはっきりとわかったので、目先の勝ち負けよりも未来に向けて本当の力をつけるための稽古していけば近い将来必ず大成する。

竜電は勝ち越したものの、動きが悪い。もっと稽古してスピードで相手を倒すような体つきにしていかなければ幕内では到底勝てない。それには自分で意識して変えていくしかない。

白鷹山は新十両の場所は相撲になっていなかった。大きく負け越しし、陥落して相撲の怖さを思い知って性根が入った。稽古場で変わったのがみえたので勝つとは思っていたが、他を寄せ付けない強さでまさかの全勝。その気持ちを忘れず一気に幕内へ駆け上がり、二人を追い越すぐらいの気迫をみせてほしい。部屋でライバル心を燃やし、刺激しあって高みに昇っていってもらいたい。

他の者は、関取衆より稽古量が少ないなど論外だ。関取の倍以上やらないと話にならない。もっと稽古に励め！

＜ご案内＞
高田川部屋　千秋楽祝賀会
平成30年9月23日(日)　午後6時30分　開宴
※ 会場は、南国酒家・原宿本店にて
（会費制……別途ご案内致します）
お申し込み　／　FAX　03-5646-0444
行司　式守勘太夫　090-3215-6524
※ショートメールでお願いします。